# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 基礎分野 | 教育学 | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 8コマ（15時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・教育の本質；目的、内容、方法、制度、行政など、教育現象のさまざまな分野・問題について学習し、教育現象の全体的構造を統一的に「教育人間学」として把握する。 |
| 行動目標（SBOs） | ・高等教育での自らの人間学の向上に役立てる。<br>・教育の場において、自分自身を客観的に理解することが出来る。<br>・社会教育、医学教育の理解を深める。 |
| 授業概要 | 【　講義予定　】<br>1、オリエンテーション、教育学概要<br>2、教育学的観点から、自分を顧みる<br>3、「ヒト」から「人へ」：人間の本性そのものが教育を必要としている<br>4、人間は、「生理的未熟児」<br>5、教育とは、「社会の維持と存続のための機能」<br>6、人間形成に影響を及ぼす因子・「自然環境・社会環境・素質・教育」<br>7、グループディスカッション・プレゼンテーション<br>8、まとめ、レポート |
| 学習方略（LS） | グループ、および個人の能動的な取り組みを期待する。 |
| 学習評価（EV） | 課題レポートとグループディスカッション、プレゼンテーションで総評する。 |
| 教科書 | 指定なし |
| 参考書 | 教育学原論（教育の本質と目的）　牛渡　淳　著　「中央法規」 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 基礎分野 | 社会学 | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 8コマ（15時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 一般社会のさまざまな仕組みを理解しながら、理学療法士としての在り方を身につける。 |
| 行動目標（SBOs） | 理学療法士養成校の学生（PTS）の視点から一般社会を考え、どのように患者様に接したら良好な関係を築けるか理解することができる。 |
| 授業概要 | 新型コロナウイルスが蔓延し、世の中が大きく変化してきている。現在、医療現場ではどのような影響が出ているかを考え、理学療法士がとるべき世の中でのスタンスを考える。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2回　社会学とはなにか<br>第3回　社会人とはなにか<br>第4回　人口について<br>第5回　医療費について<br>第6回　健康とは（健康診断、健康不安、健康寿命・・・）<br>第7回　患者－理学療法士関係について<br>第8回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習を実施する。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 特になし |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 基礎分野 | 法学 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 8コマ（15時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 社会生活における身近な事例や、理学療法士・リハビリ職が遭遇する事件や法律の事例を挙げながら、自己の考えと他人の考えを理解し、自己の行動思考につなげていく。 |
| 行動目標（SBOs） | 1、法学の基礎的な仕組みと全体構造を他者に説明することができる<br>2、基本的な法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる<br>3、経済や経営に関係の深い法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる<br>4、社会的な問題について、自分の意見を表明することができる |
| 授業概要 | 1．ガイダンス、法と人間とのかかわり、法を学ぶ意義<br>2．理学療法士に関する法<br>3．法とは何か、規範としての法、道徳と区別される法<br>4．法体系論の基礎知識、法の種類と構造<br>5．法の定義、法律の分類、法規分類<br>6．法の解釈、法律の本当の意味<br>7．法の効力、範囲と土地と時<br>8．まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習講義を実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度にて評価する。 |
| 教科書 | 特になし<br>資料を配布 |
| 参考書 | 理学療法士ガイドライン（公益社団法人日本理学療法士協会） |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 基礎分野 | 情報科学 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 8コマ（15時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 医療人が共通に備えておきたいコンピューター操作関連などの基礎的知識を理解していく |
| 行動目標（SBOs） | 1、コンピューターの基礎的操作やデータの処理等を理解する<br>2、IT社会の情報を的確に捉えるよう収集できる能力を身に付ける |
| 授業概要 | 1．ガイダンス、オリエンテーション<br>2、データの取扱い<br>3、データの処理法<br>4、コンピューターの基本操作とデータの入力・編集<br>5、コンピューター 上での文章入力、Windows 上のインターネットブラウザ利用の速やかな操作ができる<br>6、文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる①<br>7、文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる②<br>8、表計算ソフトを使用し、数式や書式設定を応用した表やグラフを作成・操作できる |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習講義を実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度で評価する。 |
| 教科書 | 特になし<br>資料を配布 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 基礎分野 | 保健体育 I | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対 象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 2単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 |
| 行動目標（SBOs） | ・身体を動かさないことのリスクを知ることができる。<br>・身体を動かす楽しさを知ることができる。<br>・スポーツの意義や価値を説明することができる。 |
| 授業概要 | 岩手県は自然が多く、運動をする環境が整っている。自然の中で運動をすると心身にどのような変化が起きるのか、実技、ディスカッションを通じて学んでいく。このコースで得た知識を患者様に生かしていく。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2～14回　各スポーツ実技及びディスカッション<br>第15回　まとめ<br><br>※身体を動かすことが多いため、各自服装を準備すること。 |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習を実施する。 |
| 学習評価（EV） | 実技25%、提出物および取組態度25%、レポート50%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 特になし。 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 基礎分野 | 保健体育Ⅱ | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 8コマ（15時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |
| 一般目標（GIO） | スポーツに関わる者には成長期のスポーツ障害から加齢による疾患まで巾広い知識が要求される様になってきた。 整形外科・スポーツ分野では、既にある運動器障害の悪化防止や新たな障害を惹起しないように、運動器の生理的機能を理解し、整形外科疾患の発症メカニズムや病態、さらに実践に即した予防法について整形外科的見地から学ぶ。 | | | | |
| 行動目標（SBOs） | 実技およびグループ演習を中心とした講義を実施するため、積極的に参加することを期待する。 | | | | |
| 授業概要 | ＜授業内容＞<br>1コマ目：理学療法評価の概要<br>2コマ目：問診についての留意点<br>3コマ目：問診についての実際<br>4コマ目：整形外科疾患患者を診るときのポイント<br>5コマ目：バイタル測定の確認<br>6コマ目：整形外科疾患の評価の実際<br>7コマ目：姿勢の評価<br>8コマ目：姿勢評価実技<br>9コマ目：上肢の治療<br>10コマ目：下肢の治療<br>11コマ目：筋力強化の基本<br>12コマ目：　〃<br>13コマ目：筋力強化実技<br>14コマ目：ストレッチの基本<br>15コマ目：ストレッチの実技 | | | | |
| 学習方略（LS） | 講義時間以外での積極的な実技練習を行い学習を深めていただきたい。 | | | | |
| 学習評価（EV） | 実技への参加度および実技グループ演習発表内容による。 | | | | |
| 教科書 | 整形外科疾患の理学療法<br>臨床思考が身につく運動療法 | | | | |
| 参考書 | 整形外科系理学療法学 | | | | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門基礎分野 | 解剖学Ⅰ | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 人体の構造を理解することができる。<br>人の動きを観察することができる。<br>基礎医学分野の重要性を知ることができる。 |
| 行動目標（SBOs） | ・人体の骨格を構成する骨の名称、形態について説明できる。<br>・人体の骨格の関節について、名称、構造、可動性について説明できる。<br>・人体の骨格筋について、名称、形態、起始、停止、作用、神経支配について説明できる。<br>・人体の主要な関節の運動と筋の作用について説明できる。 |
| 授業概要 | 基礎科目と言われる解剖学・運動学・生理学は、専門科目を学ぶ前の必須の教科である。その中でも解剖学に出てくる、骨、筋などの名称を覚えることは今後の学習の基礎となる。忘れても繰り返し学習することで知識の定着を図っていく。<br><br>第1回～5回　骨【P5から】<br>第6回～9回　末梢神経系【P278～】<br>第10～14回　筋【P177～】<br>第15回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習を実施する。 |
| 学習評価（EV） | 小テスト、提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第5版 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 基礎分野 | 解剖学Ⅰ | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。 |
| 行動目標（SBOs） | 基本的な解剖構造と名称が説明できること。解剖学的用語を用いて説明できること。 |
| 授業概要 | ＜前期授業計画＞<br><br>1、解剖学総論　（P3～P26）<br>・人体の大要（P5）<br>・解剖学用語（P5～P6）<br>・人体の構成（P8）<br>・発　生（P19）<br><br>2、循環器系　（P339～P361）<br>・血管系（P339）<br>・リンパ系（P359）<br><br>3、感覚器系　（P327～P337）<br>・外皮（P327）<br>・視覚器（P330）<br>・平衡聴覚器（334）<br>・嗅覚器（P337）<br>・味覚器（P337）<br><br>＜後期授業計画＞<br><br>1、神経系　（P239～P322）<br>・総論(P239)<br>・中枢神経系(P250)<br>・末梢神経系(P284)<br><br>2、感覚器系　（P327～P337）<br>・外皮(P327)<br>・視覚器(P330)<br>・平衡聴覚器(P334)<br>・嗅覚器(P337)<br>・味覚器(337) |
| 学習方略（LS） | 理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。 |
| 学習評価（EV） | 授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価す |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法学「解剖学」第4版 |
| 参考書 | カラー人体解剖学（西村書店）・系統看護学講座　解剖生理学（医学書院） |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門基礎分野 | 生理学Ⅰ・生理学Ⅱ | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | （Ⅰ）2単位<br>（Ⅱ）1単位 | 時間数 | （Ⅰ）30コマ（60時間）<br>（Ⅱ）15コマ（30時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 医学、および理学療法の基礎となる生理学を学び・理解する。 |
| 行動目標（SBOs） | 基礎解剖学を踏まえ、細胞、組織、器官の機能を学び・理解し、説明することが出来る。 |
| 授業概要 | ＜授業計画＞<br><br>1、生命現象と人体　（P3～P11）<br>2、細胞の構造と機能　（P13～P16）<br>3、神経の興奮伝導と末梢神経　（P19～P28）<br>4、中枢神経　（P30～P46）<br>5、筋と骨　（P49～P164）<br>6、感覚　（P66～P77）<br>7、血液　（P81～P94）<br>8、心臓と循環　（P96～P122）<br>9、呼吸とガスの運搬　（P124～P135）<br>10、尿の生成と排泄　（P137～P145）<br>11、酸塩基平衡　（P147～P148）<br>12、消化と吸収　（P150～P160）<br>13、内分泌　（P162～P174）<br>14、代謝と体温　（P177～P186）<br>15、生殖と発生　（P188～P198）<br>16、運動生理　（P201～P206） |
| 学習方略（LS） | 理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。 |
| 学習評価（EV） | 授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。 |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法学「生理学」第5版 |
| 参考書 | 系統看護学講座「解剖学生理学」 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門基礎分野 | 人間発達学 | | 担当教員 | 松村　一 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフにおいて理学療法士として経験を積み重ねている | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 誕生から死までの全生涯のライフスタイルを通して、人間がどのように発達していくかを学ぶ。 |
| 行動目標（SBOs） | 人間がどのように発達するのか、どのような要因が発達に影響するのかを説明できる。<br>1　人間発達学の対象領域について説明できる<br>2　各期の発達について説明できる<br>3　各機能の発達について説明できる |
| 授業概要 | Ⅰ　発達の概念<br>Ⅱ　発達理論<br>Ⅲ　発達検査<br>Ⅳ　姿勢反射・反応<br>Ⅴ　運動発達<br>Ⅵ　姿勢反射<br>Ⅶ　上肢機能<br>Ⅷ　ADLの発達<br>Ⅸ　感覚・知覚・認知・社会性の発達<br>Ⅹ　学童・青年・成人・老年期の発達 |
| 学習方略（LS） | 教科書のイラストを参考に、正常発達をイメージしながら学習すること。 |
| 学習評価（EV） | 最終試験（筆記試験）で総評する。 |
| 教科書 | イラストでわかる人間発達学　医歯薬出版 |
| 参考書 | 特になし。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門基礎分野 | 内科学・老年学 | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 広く、リハビリテーションと関わりの深い内科疾患と老年学を学び、理解する。 |
| 行動目標（SBOs） | リハビリテーションと関わりの深い内科疾患について、説明することができる。 |
| 授業概要 | ＜授業計画＞<br><br>1、内科学とは・内科学の概念（P2～P4）<br>2、内科的診断と治療の実際（P6～P36）<br>3、症候学（P38～P54）<br>4、循環器疾患（P55～P97）<br>5、呼吸器疾患（P102～P139）<br>6、消化器疾患（P142～P172）<br>7、肝胆膵疾患（P174～P200）<br>8、血液・造血器疾患（P201～P226）<br>9、代謝性疾患（P228～P249）<br>10、内分泌疾患（P251～P267）<br>11、腎・泌尿器疾患（P270～P295）<br>12、アレルギー疾患、膠原病と類縁疾患、免疫不全症（P297～P319）<br>13、感染症（P321～P339） |
| 学習方略（LS） | 理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。 |
| 学習評価（EV） | 授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。前期テスト結果,および後期テストで総合評価する。 |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法「内科学 」第3版、「老年学」第3版 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門基礎分野 | 整形外科学Ⅰ | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ○整形外科的疾患の基礎知識を学ぶ。人体の運動器官にかかわる疾患の診断と治療，リハビリテーションについて学習する。総論として骨・関節，神経・筋肉の機能解剖と病態について学ぶ。 |
| 行動目標（SBOs） | ○リハビリテーションと関わりの深い整形外科疾患について、説明することができる。<br>（画像の読影も含む） |
| 授業概要 | ＜授業内容予定＞<br>1、整形外科基礎知識<br>2、運動器の評価および検査法<br>3、整形外科的治療法<br>【整形外科疾病論】<br>4、炎症性疾患<br>5、代謝・内分泌疾患、退行性疾患<br>6、先天性骨・関節疾患<br>7、循環障害と壊死性疾患<br>8、骨・軟部腫瘍<br>、神経・筋疾患<br>10、脊椎の疾患<br>【外傷性疾患】<br>11、骨折<br>12、脊髄損傷<br>13、関節における外傷性疾患<br>14、末梢神経における外傷性疾患<br>15、腱・靭帯における外傷性疾患<br>16、スポーツ傷害<br>17、熱傷<br>18、切断および離断<br>19、画像の読影 |
| 学習方略（LS） | 画像の読影も、多く取り組んでいく。 |
| 学習評価（EV） | レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定 |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法「整形外科学 」第4版 |
| 参考書 | 整形外科用語マニュアル、理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント、<br>ここがポイント整形外科疾患に対する理学療法、標準整形外科学 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門基礎分野 | 精神医学 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・精神医学の特色を身体医学との比較で学ぶ |
| 行動目標（SBOs） | ・患者・障害者の心に共感し、健康な心の部分を捉える能力を養うこと<br>・健康な心の部分に働きかけつつ、病気と障害を持ちながらの生活を支える技術を学ぶ |
| 授業概要 | 1.精神科医療、精神医学とは①<br>2.精神科医療、精神医学とは②<br>3.精神科の病気とその症状①<br>4.精神科の病気とその症状②<br>5.統合失調症①<br>6.統合失調症②<br>7.気分障害（感情障害）①<br>8.気分障害（感情障害）②<br>9.外因性精神障害<br>10.器質性精神障害<br>11.症状性精神障害、物質関連障害<br>12.てんかん<br>13.老年期精神障害<br>14.児童青年期の精神障害、知的能力障害<br>15.まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義にて実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | はじめての精神医学　渡辺雅幸　改訂第2版 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 基礎分野 | リハビリテーション概論（理学療法概論） | | 担当教員 | 佐々木　成大 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 3単位 | 時間数 | 45コマ（90時間） | | |
| 授業区分 | 講義、演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 初富保険病院、老人保健やまゆりで理学療法士として経験を積み重ねている。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 医療、リハビリテーションを取り巻く社会背景をよく理解し、見識を深める。 |
| 行動目標（SBOs） | 次の項目を認識、理解する。<br><br>・医療、保健分野の理学療法<br>・地域リハビリテーションと理学療法<br>・臨床教育の実践<br>・理学療法の課題 |
| 授業概要 | ①理学療法とは何か。理学療法を構成する各種技術。<br>②理学療法に関連する法律<br>③理学療法士の活躍する場<br>④医療関連職種について　〃<br>⑤理学療法士の職能<br>⑥理学療法士の教育　〃<br>⑦理学療法士の臨床思考<br>⑧理学療法の実際の流れ　〃<br>⑨理学療法士の役割、フィールドワーク、管理運営<br>⑩SOAP、デイリーノートの書き方<br>⑪実技　触診<br>患者様の触れ方<br>手の使い方、体の使い方<br>コミュニケーション<br>トランスファー<br>マッサージ<br><br>予習　:①理学療法概論テキストを一読する。<br>②自分の理解できない部分をチェックしておく。疑問点をメモしておく。<br>以上2点が基本的事項になります。 |
| 学習方略（LS） | 実技：触診（皮膚、軟部組織、筋、骨、脈診）、触れ方、ランドマーク、手の使い方、体の使い方 |
| 学習評価（EV） | ・小テスト、実技、グループワーク、課題、学習態度、出席率、期末テストの総合評価 |
| 教科書 | 「細田多穂　監修：理学療法概論テキスト，改訂第3版，南江堂」 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門基礎分野 | 社会福祉学 | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 社会背景の移り変わりに対してどのように社会福祉制度が変化してきているのかを理解し、対人援助する際の視点を持てる |
| 行動目標（SBOs） | 1）社会福祉とは何かを理解する。<br>2）日本における社会福祉制度について理解する。<br>3）介護保険制度について理解する。<br>4）地域福祉について理解する。<br>5)医療福祉・精神保健福祉について理解する。<br>6）社会福祉施設の役割について理解する。 |
| 授業概要 | 1：社会福祉とは<br>2：日本の社会福祉の歴史<br>3：社会保障制度と社会福祉を展開する組織<br>4：子ども福祉について<br>5：障害者福祉について<br>6：高齢者福祉について<br>7：介護保険制度と専門職の役割<br>8：低所得者福祉について<br>9：地域福祉とその推進方法<br>10：医療福祉について<br>11：精神保健福祉について<br>12：社会福祉施設の役割<br>13：社会福祉を担う人々<br>14：相談援助の目的と方法<br>15：社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割 |
| 学習方略（LS） | 教科書を中心に講義形式で学習<br>○学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986）<br>カテゴリーの精密化方略を参考としてください。<br>※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。 |
| 学習評価（EV） | レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定 |
| 教科書 | コメディカルのための社会福祉概論　第4版　講談社 |
| 参考書 | その他、厚生労働省資料やプリント等 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門基礎分野 | 理学療法評価法 I | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法の意義を理解し、個々の評価方法、判断をし患者の全体像を把握できる |
| 行動目標（SBOs） | ・理学療法評価の意義を理解する。<br>・理学療法評価の手技・判断が理解する。 |
| 授業概要 | ・理学療法評価の意義<br>・一般的評価事項<br>・バイタルサイン<br>・形態測定<br>・痛みの評価<br>・バランステスト<br>・整形外科疾患試験<br>・高次脳機能検査<br>・姿勢分析・動作分析 |
| 学習方略（LS） | 教科書および実技での学習<br>○学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986）<br>カテゴリーの**リハーサル方略・理解監視方略**を参考としてください。<br>※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。 |
| 学習評価（EV） | 定期テストおよび実技テストにて総合的に評価する予定 |
| 教科書 | 理学療法評価学テキスト　改訂第2版　南江堂 |
| 参考書 | 臨床理学療法評価法　第2版　アイペック<br>理学療法評価学　障害別・関節別評価のポイントと実際　文光堂 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法演習ＩＡ | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・関節可動域測定の意義を理解する<br>・徒手筋力検査の意義を理解する |
| 行動目標（SBOs） | ・関節可動域測定において基本軸・移動軸を理解し確実にテストすることが出来る<br>・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る |
| 授業概要 | 1、関節可動域測定①　肩甲帯・上肢<br>2、関節可動域測定②　肩甲帯・上肢<br>3、関節可動域測定③　肩甲帯・上肢<br>4、関節可動域測定④　頸部・体幹<br>5、関節可動域測定⑤　頸部・体幹<br>6、関節可動域測定⑥　頸部・体幹<br>7、関節可動域測定⑦　手指<br>8、徒手筋力検査法　頸部・体幹　講義<br>9、徒手筋力検査法　頸部・体幹　実技<br>10、徒手筋力検査法　上肢①　講義<br>11、徒手筋力検査法　上肢①　実技<br>12、徒手筋力検査法　上肢②　講義<br>13、徒手筋力検査法　上肢②　実技<br>14、徒手筋力検査法　上肢③　講義<br>15、徒手筋力検査法　上肢③　実技 |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、実技を用いて実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度20%、実技試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 理学療法評価学　改訂第5版<br>新・徒手筋力検査法　第9版 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法演習ＩＢ | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・関節可動域測定の意義を理解する<br>・徒手筋力検査の意義を理解する |
| 行動目標（SBOs） | ・関節可動域測定において基本軸・移動軸を理解し確実にテストすることが出来る<br>・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る |
| 授業概要 | 1、関節可動域測定①　下肢<br>2、関節可動域測定②　下肢<br>3、関節可動域測定③　下肢<br>4、関節可動域測定④　下肢<br>5、関節可動域測定⑤　下肢<br>6、徒手筋力検査法　下肢　講義①<br>7、徒手筋力検査法　下肢　実技①<br>8、徒手筋力検査法　下肢　講義②<br>9、徒手筋力検査法　下肢　実技②<br>10、徒手筋力検査法　下肢　講義③<br>11、徒手筋力検査法　下肢　実技③<br>12、徒手筋力検査法　下肢　講義④<br>13、徒手筋力検査法　下肢　実技④<br>14、徒手筋力検査法　下肢　講義⑤<br>15、徒手筋力検査法　下肢　実技⑤ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、実技を用いて実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度20%、実技試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 理学療法評価学　改訂第5版<br>新・徒手筋力検査法　第9版 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 運動療法総論 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 1年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・運動療法の概念を理解する<br>・運動療法の特徴ならびに障害に対する運動療法の適応を理解する |
| 行動目標（SBOs） | ・基本的運動を分類することができる<br>・種々の基本的運動についてその定義、特徴を述べることができる |
| 授業概要 | 1.運動療法の歴史・概念（定義）・位置付け<br>2.運動療法の基礎<br>3.関節可動域運動①<br>4.関節可動域運動②<br>5.筋力増強運動①<br>6.筋力増強運動②<br>7.筋力増強運動③<br>8.筋力増強　研究①<br>9.筋力増強　研究②<br>10.筋力増強　研究③<br>11.筋力増強　研究④<br>12.持久力増強①<br>13.持久力増強②<br>14.協調性運動<br>15.まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、実技を用いて実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 標準理学療法学　運動療法学　総論 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 解剖学Ⅱ | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。 |
| 行動目標（SBOs） | 基本的な解剖構造と名称が説明できること。解剖学的用語を用いて説明できること。 |
| 授業概要 | ＜講義計画予定＞<br><br>「内臓学」<br><br>・1、内臓器官の構造<br>・2、消化器系<br>・3、呼吸器系<br>・4、泌尿器系<br>・5、生殖器系<br>・6、内分泌系 |
| 学習方略（LS） | 理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。 |
| 学習評価（EV） | 小テスト結果、および前期テスト結果で総合評価する。 |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法学解剖学 第4版 |
| 参考書 | カラー人体解剖学（西村書店）・系統看護学講座　解剖生理学（医学書院） |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 解剖学Ⅱ | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 1年次で学んだ循環器系、内分泌系、生殖器系の知識をより深めることができる。 |
| 行動目標（SBOs） | 解剖構造と名称を説明することができる。<br>循環器系の構成と概要について説明することができる。<br>理学療法と循環器系、内分泌系、生殖器系との関わりが説明できる。 |
| 授業概要 | 今まで学習してきたことを基礎として、より詳細な学問に結びつけていく。この講座の終了時には理学療法と学んだ知識が結びつけられることが望ましい。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2～8回目　循環器【P339～】<br>第9～11回　内分泌系【P406～】<br>第12～14回　生殖器【P399～】<br>第15回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習を実施する。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法学　第5版 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門基礎分野 | 小児科学 | | 担当教員 | 松村　一 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフにおいて理学療法士として経験を積み重ねている | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | リハビリテーションと関わりのある疾患について、理解し説明することができる。 |
| 行動目標（SBOs） | 人間発達学で学習した内容を踏まえて、理学療法士として特に臨床場面で携わる疾患の症状と治療について説明できる。 |
| 授業概要 | 1　理学療法士と小児科学のかかわり<br>2　小児科学概論<br>3　診断と治療の概要<br>4　新生児・未熟児疾患<br>5　先天異常と遺伝病<br>6　神経・筋・骨系疾患<br>7　循環器疾患<br>8　呼吸器疾患<br>9　感染症<br>10　消化器疾患<br>11　内分泌・代謝疾患<br>12　血液疾患<br>13　免疫・アレルギー疾患・膠原病<br>14　腎・泌尿器系・生殖器疾患<br>15　腫瘍性疾患<br>16　習癖・睡眠関連病態・心身医学的疾患・虐待<br>17　重症心身障がい児<br>18　眼科・耳鼻科的疾患 |
| 学習方略（LS） | 内科学や整形外科学の知識を共有しながら学習すること。 |
| 学習評価（EV） | 最終試験（筆記試験）で総評する。 |
| 教科書 | 標準理学療法学・作業療法学「小児科学」第5版 |
| 参考書 | 標準理学療法学・作業療法「内科学 」第3版、「老年学」第3版<br>標準理学療法学・作業療法「整形外科学 」第4版 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法研究法Ⅰ | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。 |
| 行動目標（SBOs） | 1、研究の意義が説明できる<br>2、研究過程を説明できる<br>3、データの解析ができる<br>4、研究発表ができる |
| 授業概要 | 1．概論　（研究の面白さ、楽しみ、何のために研究をするのか）<br>2．研究を始める前に(研究テーマの選び方、研究の仮設立案)<br>3．統計学の基本1<br>4．統計学の基本2<br>5．記述統計学<br>6．統計学の確率の考え方<br>7．推測統計学の考え方<br>8．自主研究1<br>9．自主研究2<br>10．自主研究3<br>11．自主研究4<br>12．自主研究5<br>13．自主研究6<br>14．発表<br>15．発表、まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習講義を実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 統計学の図鑑　技術評論社 |
| 参考書 | リハビリテーション統計学　中山書店 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法研究法Ⅱ | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。 |
| 行動目標（SBOs） | 1、理学療法研究の意義が説明できる<br>2、理学療法研究過程を説明できる<br>3、理学療法データの解析ができる<br>4、理学療法研究の発表ができる |
| 授業概要 | 1、オリエンテーション<br>2、理学療法研究について①<br>3、理学療法研究について②<br>4、理学療法学会誌等の紹介①<br>5、理学療法学会誌等の紹介②<br>6、理学療法学会誌等の自己検索①<br>7、理学療法学会誌等の自己検索②<br>8、自己研究の作成①<br>9、自己研究の作成②<br>10、自己研究の作成③<br>11、自己研究の作成④<br>12、自己研究の作成⑤<br>13、研究発表用のパワーポイント貼り付け<br>14、研究発表<br>15、研究発表、まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習講義を実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 統計学の図鑑　　技術評論社 |
| 参考書 | リハビリテーション統計学　中山書店 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法評価法Ⅱ | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習（講義含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 疾患特性からシュシュの評価選定、実施し、その結果がADSLにどのような影響を与えているか統合することにより、予後予測を含めて包括的に捉える。 |
| 行動目標（SBOs） | 1：個々の疾患の概略を理解し、説明できる。<br>2：個々の疾患、障害に応じた評価項目の意義を理解し、説明できる。<br>3：評価結果のとらえ方を説明でき、その結果を解釈できる。 |
| 授業概要 | 1：総論<br>2：運動器疾患（股関節）に対する評価概要<br>3：運動器疾患（股関節）に対する評価演習<br>4：運動器疾患（股関節）に対する評価概要<br>5：運動器疾患（膝関節）に対する評価演習<br>6：腰痛に対する評価概要<br>7：腰痛に対する評価演習<br>8：神経疾患（脳卒中））に対する評価概要<br>9：：SIASについて<br>10：神経疾患（脳卒中）に対する評価演習<br>11：神経疾患（脳卒中）に対する評価演習<br>12：神経疾患（運動失調）に対する評価概要<br>13：神経疾患（運動失調）に対する評価演習<br>14：神経疾患（パーキンソン病とその他パーキンソン症候群）に対する評価概要<br>15：神経疾患（パーキンソン病とその他パーキンソン症候群）に対する評価演習<br>16：スポーツ外傷・障害に対する評価概要<br>17：スポーツ外傷・障害に対する評価演習<br>18：高齢者の体力（身体運動能）に対する評価概要<br>20：高齢者の体力（身体運動能）に対する評価演習<br>21～29：模擬患者での評価演習<br>30：まとめ |
| 学習方略（LS） | 教科書および実技での学習<br>○学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986）<br>カテゴリーの**リハーサル方略・理解監視方略**を参考としてください。<br>※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。 |
| 学習評価（EV） | 定期テストおよび実技テストにて総合的に判断 |
| 教科書 | 著：松澤正　江口勝彦 「理学療法評価学　改定第6版」 金原出版 |
| 参考書 | 監修：細田多穂 「シンプル理学療法学シリーズ　理学療法評価学テキスト　改訂第2版」 南江堂<br>編集：内山靖　他 「標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学　第3版」 医学書院<br>国家試験問題集等 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 臨床運動学 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・臨床での基本的な動作分析を理解する<br>・動作遂行能力の診断、動作異常要素の原因追究を行う |
| 行動目標（SBOs） | ・力学的動作が説明できる<br>・動作分析の思考過程を明らかにし、事例を通して動作分析を理解する<br>・代表的な疾患を通して動作の特徴を理解する |
| 授業概要 | 1、2、3、4　正常動作の観察と分析①～④<br>5、6、7　臨床における動作分析の進め方①～③<br>8、9、10　臨床における動作分析の進め方-動作分析の展開①～③<br>11～15　臨床における動作分析の進め方-動作分析の実際①～⑤<br>16. 疾患・症状別異常動作の特徴-脳血管障害片麻痺の動作①<br>17. 疾患・症状別異常動作の特徴-脳血管障害片麻痺の動作②<br>18. 疾患・症状別異常動作の特徴-脳血管障害片麻痺の動作③<br>19. 疾患・症状別異常動作の特徴-対麻痺の動作①<br>20. 疾患・症状別異常動作の特徴-対麻痺の動作②<br>21. 疾患・症状別異常動作の特徴-完全四肢麻痺の動作①<br>22. 疾患・症状別異常動作の特徴-完全四肢麻痺の動作②<br>23. 疾患・症状別異常動作の特徴-不全四肢麻痺の動作<br>24. 疾患・症状別異常動作の特徴-下肢荷重関節の障害と動作①<br>25. 疾患・症状別異常動作の特徴-下肢荷重関節の障害と動作②<br>26. 疾患・症状別異常動作の特徴-パーキンソン症状の動作①<br>27. 疾患・症状別異常動作の特徴-パーキンソン症状の動作②<br>28. 疾患・症状別異常動作の特徴-筋ジストロフィー症の動作<br>29. 疾患・症状別異常動作の特徴-脳性麻痺の動作<br>30. 疾患・症状別異常動作の特徴-多関節障害（リウマチ）の動作、高齢者の運動・動作 |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、実技を用いて実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度、試験により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 動作分析　臨床活用講座　バイオメカニズムに基づく臨床推論の実践 |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 日常生活技術論 | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法の中で障害とADLの関連性を正しくとらえることは、個々のライフスタイルに合わせたアプローチをするうえで重要である。ADLの概要及びその範囲、ADL評価、ADL支援機器、疾患特性に応じたADLの指導方法等を学習する。 |
| 行動目標（SBOs） | 1：ADLの概要について理解し、説明できる。<br>2：ICIDH・ICFとADLとの関連について理解する。<br>3：ADLとQOLの関係を理解する。<br>4：ADLに必要な運動学の視点を理解し、介助方法について運動学的説明ができる。<br>5：主なADL評価を説明できる。<br>6：ADLを支援する機器の役割を理解できる。<br>7：代表的な理学療法対象疾患の特性を理解し指導方法を説明できる。<br>8：在宅生活復帰に必要な退院・退所前の評価の要点とADL指導内容およびその際の留意事項について説明できる。 |
| 授業概要 | 1：ADLの概要と範囲、ADLと障害<br>2：ADLとQOL<br>3-4：ADLと運動学<br>5-6：基本動作の指導方法<br>7-8：ADL評価<br>9-10：ADL支援機器：自助具・日常生活用具<br>11-12：ADL支援機器：歩行補助具<br>13-16：ADL支援機器：車椅子<br>17-19：片麻痺のADL<br>20-21：関節リウマチのADL<br>22-23：人工股関節全置換術（THA)後のADL<br>24：呼吸・循環障害のADL<br>25-26：神経筋疾患・難病のADL<br>27：ロービジョンのADL<br>28-29：在宅生活に向けたADL指導<br>30：まとめ |
| 学習方略（LS） | 教科書および実技での学習<br>○学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986）<br>カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。<br>※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。 |
| 学習評価（EV） | 定期テストおよびレポートにて総合的に判断 |
| 教科書 | 編集：鶴見隆正　隆島研吾「標準理学療法学　日常生活活動学・生活環境学　第5版」医学書院 |
| 参考書 | 編集：伊藤利之・江藤文夫　「新版　日常生活活動（ADL）第2版　評価と支援の実際」医歯薬出版　編集：臼田　滋「理学療法学テキスト　日常生活活動学」メディカルビュー社　国家試験問題集等 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 理学療法演習ⅡA | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対 象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 代表的な内部障害患者に対して病態を理解することできる。<br>運動療法とリスクを理解することができる。 |
| 行動目標（SBOs） | 1.）病期に合わせたリハビリテーションの選択ができるようになること。<br>2）リスク管理をしながら実技の実践ができるようになること。 |
| 授業概要 | 第1回　オリエンテーション<br>第2回　呼吸リハビリテーションについて―　排痰法　【P72～】<br>第3回　〃－　胸郭可動域練習　【P79～】<br>第4回　〃－　徒手的呼吸介助手技　【P82～】<br>第5回　〃－　気道内分泌物吸引法　【P92～】<br>第6回　心臓リハビリテーションについて【P112～】<br>第7回　〃<br>第8回　〃<br>第9回　〃<br>第10回　〃<br>第11回　腎臓リハビリテーションについて【P220～】<br>第12回　〃<br>第13回　〃<br>第14回　〃<br>第15回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、実技、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、実技試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 「ビジュアルレクチャー　内部障害理学療法学　第2版」 医歯薬出版 |
| 参考書 | 特になし。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法演習ⅡB | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 今まで学んできた知識を整理し、臨床での推察能力をみにつけることができる。 |
| 行動目標（SBOs） | 1.）レジメやレポート作成に関してのルールを理解することができる。。<br>2.）呼吸機能障害や心臓機能障害、代謝障害などの疾患に合わせた評価、治療プログラムを適切に選択できる。 |
| 授業概要 | 臨床実習期間中では、カルテなど得られた様々な情報から、何をどのように整理したら良いかまとめる事が重要となる。配布する参考資料を見ながら、自分自身で考察し、見解を述べることで今後控えている臨床実習に生かしていく。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2回　症例レポートの作法<br>第3回　呼吸器機能障害のケーススタディ【P103～P109】<br>第4回　レジメ・レポートの提示①<br>第5回　レジメ・レポートの提示②<br>第6回　循環器機能障害のケーススタディ【P215～P218】<br>第7回　レジメ・レポートの提示③<br>第8回　レジメ・レポートの提示④<br>第9回　代謝障害のケーススタディ【P263～P265】<br>第10回　レジメ・レポートの提示⑤<br>第11回　レジメ・レポートの提示⑥<br>第12回　その他<br>第13回　〃<br>第14回　〃<br>第15回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、レポート80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | ビジュアルレクチャー　内部障害理学療法学　第2版　高橋　哲也 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 理学療法技術論（脊椎疾患） | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対 象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・重篤な症状が発現し、広範囲なリハビリテーションを必要とする脊髄障害の病態や評価そして理学療法を理解し、技術を習得する。<br>・臨床で多く認められる脊椎疾患について広く理解を図る。 |
| 行動目標（SBOs） | ・脊髄損傷の状態を理解し、説明することが出来る。障害状態に応じた理学療法が実施できるようになること。<br>・脊椎に特有な多くの疾患を理解する。 |
| 授業概要 | ＜授業計画＞<br><br>1、脊髄損傷の基礎的知識<br>2、理学療法評価<br>3、呼吸理学療法<br>4、理学療法（治療指導）<br>5、車いす処方と練習<br>6、精神・心理的適応とアプローチ<br>7、排尿・尿路障害<br>8、性機能障害への援助<br>9、脊髄損傷とスポーツ<br>10、脊髄損傷と自動車運転<br>11、脊髄損傷以外の脊椎疾患<br>・変形性脊椎症<br>・椎間板ヘルニア<br>・脊椎分離症<br>・脊椎すべり症<br>・その他、臨床で多く認められる脊椎疾患 |
| 学習方略（LS） | ・脊髄損傷を中心に、臨床で多く見られる脊髄疾患を学ぶ |
| 学習評価（EV） | ・基礎知識のテスト、および応用的な実技テストで評価する。 |
| 教科書 | ・特に、指定なし |
| 参考書 | ・標準理学療法学・作業療法学（第4版）「整形外科学」（医学書院）<br>・「脊髄損傷の理学療法」（医歯薬出版）<br>・その他 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 理学療法技術論(整形外科・スポーツ) | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対 象 | 2年 | (メールアドレス) | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ(30時間) | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習(講義を含む) | | | 実務経験のある教員(有の場合は、内容) | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標<br>(GIO) | ・スポーツを通じて 理学療法士としてどのように患者様に対応するかを学ぶことができる。<br>・ 障害予防の観点から理学療法士の役割, 具体的な対応策を学習することができる。 |
| 行動目標<br>(SBOs) | ・自分自身で適度な運動を継続し、身体活動量を高めることができる。<br>・様々な人に対してスポーツの効果を伝達することができる。 |
| 授業概要 | 2021年に開催予定とされる東京オリンピック、パラリンピックだが、大会終了後は各スポーツの注目度が下がると懸念されている。このコースでは、スポーツをすることによってどのような効果が身体面、精神面に現れるのかを確認しながら進めていく。<br><br>※各自、いつでも運動ができるような服装を準備しておくこと。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2回　障害者スポーツについて<br>第3～9回　障がい者スポーツ体験<br>第10～14回　関わりたい障害者スポーツ<br>第15回　まとめ |
| 学習方略<br>(LS) | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。 |
| 学習評価<br>(EV) | 提出物および取組態度20%、レポート80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 「ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種目別スポーツ障害の診療　改定第2版」南江堂 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法技術論(整形外科・スポーツ) | | 担当教員 | 千葉　壽夫 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 2年 | (メールアドレス) | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ(30時間) | t-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員(有の場合は、内容) | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 岩手クリニック水沢、国保衣川診療所、さわうち病院において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |
| 一般目標(GIO) | スポーツに関わる者には成長期のスポーツ障害から加齢による疾患まで巾広い知識が要求される様になってきた。 整形外科・スポーツ分野では、既にある運動器障害の悪化防止や新たな障害を惹起しないように、運動器の生理的機能を理解し、整形外科疾患の発症メカニズムや病態、さらに実践に即した予防法について整形外科的見地から学ぶ。 | | | | |
| 行動目標(SBOs) | 実技およびグループ演習を中心とした講義を実施するため、積極的に参加することを期待する。 | | | | |
| 授業概要 | ＜授業内容＞<br>1コマ目：理学療法評価の概要<br>2コマ目：問診についての留意点<br>3コマ目：問診についての実際<br>4コマ目：整形外科疾患患者を診るときのポイント<br>5コマ目：バイタル測定の確認<br>6コマ目：整形外科疾患の評価の実際<br>7コマ目：姿勢の評価<br>8コマ目：姿勢評価実技<br>9コマ目：グループ演習課題<br>10コマ目：　〃<br>11コマ目：　〃<br>12コマ目：　〃<br>13コマ目：　〃<br>14コマ目：　〃<br>15コマ目：　〃<br>16コマ目：三角巾、弾性包帯の巻き方<br>17コマ目：リスク管理<br>18コマ目：ROMエクササイズの基本<br>19コマ目：ROMエクササイズの基本<br>20コマ目：上肢の治療<br>21コマ目：下肢の治療<br>22コマ目：筋力強化の基本<br>23コマ目：　〃<br>24コマ目：筋力強化実技<br>25コマ目：ストレッチの基本<br>26コマ目：ストレッチの実技 | | | 27～30コマ目：グループ演習課題<br><br>※演習課題内容については、随時お知らせをします。 | |
| 学習方略(LS) | 講義時間以外での積極的な実技練習を行い学習を深めていただきたい。 | | | | |
| 学習評価(EV) | 実技への参加度および実技グループ演習発表内容による。 | | | | |
| 教科書 | 整形外科疾患の理学療法<br>臨床思考が身につく運動療法 | | | | |
| 参考書 | 整形外科系理学療法学 | | | | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法技術論（脳血管疾患） | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習を含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 脳の構造と機能について理解、損傷部位によりどのような経過をたどって回復に至るかについて理解し、具体的な運動療法立案できる。 |
| 行動目標（SBOs） | ・脳の機能と運動障害の関係について整理。<br>・運動障害となる脳血管障害をはじめとした脳の損傷についての知識の理解。<br>・リハビリテーションを行う意義についての理解。<br>・治療時のリスク管理が行える。 |
| 授業概要 | 1：中枢神経障害の全容<br>2：脳血管障害とは<br>3：脳血管障害の診断～急性期治療<br>4・5：片麻痺患者の評価<br>6～9：運動療法の実技演習<br>10：パーキンソン病とは<br>11：パーキンソン病の理学療法<br>12：運動失調とは<br>13：小脳性運動失調の理学療法<br>14：頭部外傷・脳腫瘍・低酸素脳症<br>15：多発性硬化症等神経筋疾患について |
| 学習方略（LS） | 理学療法ガイドライン、EBMに基づく治療技術を習得できるよう実技演習をふまえて実施 |
| 学習評価（EV） | レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定 |
| 教科書 | シンプル理学療法学シリーズ　神経筋障害理学療法学テキスト　改訂第3版　　南江堂 |
| 参考書 | ・15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト　神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ　中山書店<br>・脳卒中最前線―急性期の診断からリハビリテーションまで―　第4版　医歯薬出版<br>・Crosslink　理学療法学テキスト　神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱメディカルビュー社<br>・脳卒中　基礎知識から最新リハビリテーションまで　医歯薬出版 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 理学療法技術論（内部障害） | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 障害を系統別に分類し、障害を引き起こす疾患の成り立ちを理解する。<br>基本的な治療原則を理解し、的確な治療方法を適応できる。 |
| 行動目標（SBOs） | 1）呼吸機能検査から、換気障害の分類をし、疾患の特徴を説明できる。<br>2）呼吸器疾患に対する呼吸理学療法手技について説明できる。<br>3）循環器疾患の病態、病期にあわせて適切に理学療法評価と治療について説明できる。<br>4）腎不全の病態生理を理解し、適切な理学療法評価と治療について説明できる。<br>5）糖尿病と重要な合併症を理解して上で、糖尿病に対する適切な運動療法と生活指導を実施できる。 |
| 授業概要 | 第1回　オリエンテーション<br>第2回　第1章　内部障害理学療法学総論（P2）<br>第3回　第2章　呼吸機能障害と理学療法（P14）<br>第4回　〃<br>第5回　〃<br>第6回　〃<br>第7回　第3章　心臓（循環）機能障害と理学療法（P112から）<br>第8回　〃<br>第9回　〃<br>第10回　〃<br>第11回　〃<br>第12回　第4章　代謝と理学療法（P220から）<br>第13回　〃<br>第14回　〃<br>第15回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習を実施する。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 「ビジュアルレクチャー 内部障害理学療法学 第2版」 高橋　哲也（編）　医歯薬出版 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 理学療法技術論（小児疾患） | | 担当教員 | 松村　一 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対 象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | pt-rehalife@soleil.ocn.ne.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフにおいて理学療法士として経験を積み重ねている | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 人間発達学および小児科学で学習した内容を踏まえて、理学療法士として特に臨床場面で携わる疾患の症状、理学療法評価と治療について説明できる。 |
| 行動目標（SBOs） | 1　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の臨床症状について説明できる<br>2　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の臨床症状から理学療法評価が出来る<br>3　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の理学療法評価から治療プログラムを立案できる<br>4　理学療法士が携わる小児の代表的疾患の理学療法を実践できる |
| 授業概要 | 1　脳性まひ総論<br>2　脳性まひ痙直型<br>3　脳性まひアテトーゼ型<br>4　子供の整形外科疾患<br>5　知的障がい児とその他の発達障がい児<br>6　子供の遺伝性疾患<br>7　重症心身障害児<br>8　子供の呼吸障害<br>9　発達障害の療育体系と療育指導 |
| 学習方略（LS） | これまで学んできた「人間発達学」「小児科学」「理学療法評価法」「運動療法」で学んだ知識と技術が要求されます。各教科書を参照しながら実技を通して学習すること。 |
| 学習評価（EV） | 最終試験（筆記試験）で総評する。 |
| 教科書 | シンプル理学療法学シリーズ「小児理学療法学テキスト」改訂第3版 |
| 参考書 | 標準理学療法学・作業療法学「小児科学」第5版　　イラストでわかる人間発達学　　理学療法評価学テキスト　改訂第2版　　標準理学療法学　運動療法学　総論 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 義肢学 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 切断のリハビリテーションにおいて、理学療法士は、断端機能を改善させ、適合した義肢で生活動作が獲得できるよう、理学療法を実施する |
| 行動目標（SBOs） | ①四肢切断に関する医学的知識を理解する<br>②アライメントの概念を理解する<br>③義肢の構造と各部品について理解する<br>④下肢切断者の理学療法を理解する<br>⑤上肢切断への理学療法のかかわりを理解する<br>⑥社会資源について理解する |
| 授業概要 | 1. 切断と義肢の基礎知識<br>2. 早期義肢装着法と義足適合の流れ－アライメントの概念<br>3. 大腿切断・膝離断の基本と義足構造<br>4. 大腿義足・膝義足のアライメント<br>5. 下腿切断・サイム切断の基本と義足構造<br>6. 下腿義足・サイム切断のアライメント<br>7. 股離断・片側骨盤切除・足部切断の義足構造とアライメント<br>8. 下肢切断の評価－問題点の抽出とその統合<br>9. 下肢切断の機能障害と義足装着前理学療法<br>10. 切断原因疾患別にみた理学療法上の留意点<br>11. 義足装着理学療法と応用動作<br>12. 義手の分類と構造・機能<br>13. 上肢切断の評価と治療<br>14. 義肢装具の支給体系とチームアプローチ<br>15. 講義のまとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、実技を用いて実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 理学療法テキスト　義肢学　石川　朗 |
| 参考書 | 義肢装具学　第2版　千住秀明 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 装具学 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさしの各施設において、理学療法士としての経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 骨関節疾患や脳・神経筋疾患などにより運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるようになるために、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。装具の適合についてチェックアウトの方法を習得する。 |
| 行動目標（SBOs） | ・装具の目的について理解する<br>・装具の3点固定の原理について理解する<br>・装具制作の流れについて理解する<br>・装具療法におけるチームアプローチについて理解する<br>・歩行のバイオメカニクスについて理解する |
| 授業概要 | 1. 装具学総論<br>2. 下肢装具の部品<br>3. 短下肢装具<br>4. 長下肢装具・股装具・膝装具<br>5. 靴型装具<br>6. 下肢装具のチェックアウト<br>7. 下肢装具のチェックアウト-実習<br>8. 体幹装具・側弯症装具<br>9. 上肢装具と自助具<br>10. 車椅子・歩行補助具<br>11. 疾患別装具の処方（1）-脳卒中片麻痺の装具<br>12. 疾患別装具の処方（2）-整形外科疾患の装具<br>13. 疾患別装具の処方（3）-関節リウマチの装具<br>14. 疾患別の処方（4）-対麻痺・小児の装具<br>15. 講義まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、実技を用いて実施する。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 理学療法テキスト　装具学　石川　朗 |
| 参考書 | 義肢装具学　第2版　千住秀明 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | リハビリテーション機器 | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 後期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習を含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法にて治療の促進およびADL向上の手段として使用されている様々な機器について紹介し、その効果、リスク管理を含めて学習する。 |
| 行動目標（SBOs） | ・様々な機器の名前、使用方法が説明できる。<br>・機器のリスク管理を把握できる。<br>・日常生活での活用方法について提案できる。 |
| 授業概要 | 1：ティルトテーブルについて<br>2：スリングについて<br>3-4：スライディングボード・シートについて<br>5-7：歩行支援ロボットについて<br>8-10：介助リフトについて<br>11-14：様々な機器の使用演習<br>15:総括 |
| 学習方略（LS） | 教科書および実技での学習<br>○学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986）<br>カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。<br>※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。 |
| 学習評価（EV） | レポート課題による評価 |
| 教科書 | 編集：細田多穂+柳澤健 「理学療法ハンドブック　改訂第4版」 協同医書出版社 |
| 参考書 | Medical rehabilitation　No.194 「現場に活かす歩行リハビリテーション支援機器」 全日本病院出版会 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 生活環境論 | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 私たちが生活するうえで環境はとても重要である。理学療法士として地域リハビリテーションを展開するうえで、現在の社会的背景を理解し、個々に考えられるバリア、地域環境をいかに改善するための立案・提案方法を実践的に習得する。 |
| 行動目標（SBOs） | 1：生活環境の概念について説明できる。<br>2：社会状況と諸制度について説明できる。<br>3：バリアフリーデザイン、ユニバーサリデザインについて説明できる。<br>4：居住環境の整備の一般知識と障害、疾患別の環境調整のポイントについて説明できる。<br>5：福祉用具・社会生活用用具等の種類や活用方法について説明できる。<br>6：障害から環境調整の設計図を書き、その理由をプレゼンテーションできる。 |
| 授業概要 | 1：生活環境の概念<br>2：関連法制度について<br>3：関連法制度について(介護保険中心に)<br>4：生活環境の基礎(ICFの生活要因の位置付けも含み)<br>5：地域における生活環境整備<br>6：福祉用具の種類と活用(機器関係のリスク管理含み)<br>7：介護保険制度における福祉用具貸与と住宅改修について<br>8：ベッド周辺環境の福祉用具と移乗・移動　(実技中心)<br>9：ベッド周辺環境の福祉用具と移乗・移動　(実技中心)<br>10：環境整備例(障害・疾患別)<br>11：環境整備例(障害・疾患別)<br>12：3.11仮設住宅棟の環境整備例<br>13：ケーススタディ(症例に合わせた環境改善の設計図作成)<br>14：ケーススタディ(プレゼンテーション)<br>15：まとめ |
| 学習方略（LS） | 教科書および実技での学習<br>○学習方略のタイプ（ワインスタインら　1986）<br>カテゴリーの**リハーサル方略・理解監視方略**を参考としてください。<br>※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。 |
| 学習評価（EV） | レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定 |
| 教科書 | 木村哲彦監修 「生活環境論－生活支援の支点と方法－第6版」 医歯薬出版 |
| 参考書 | 長澤泰監修 「初めて学ぶ　福祉住環境　第3版」 市ヶ谷出版<br>伊藤利之監修 「ADLとその周辺　評価・指導・介護の実際　第3版」 医学書院<br>伊藤利之・江藤文雄編 「新版　日常生活活動(ADL)　－評価と支援の実際－」 医学書院<br>その他必要に応じてプリント等 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | レクリエーション論 | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含む） | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | レクリエーションのあり方などの基本理念を学習し、医療現場での実践能力を習得する。 |
| 行動目標（SBOs） | 1）レクリエーション活動の意義を理解できる。<br>2）レクリエーションの指導理論を理解できる。<br>3）対象者に合わせたレクリエーション支援の方法を考察することができる。 |
| 授業概要 | 「医療現場で理学療法士が行うレクリエーションとは何か」というテーマを常に意識しながら、座学および実技にて体験し、臨床実習で生かしていく。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2回　レクリエーションの意義<br>第3回～6回　治療の目で見るレクリエーション（P2～）<br>第7回～10回　集団的アプローチ法（P71～）<br>第11回～14回　レクリエーションの起源からこれまでの展開（P109～）<br>第15回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 「治療の目でみるレクリエーション論」　著：清水　和代　SHINRYOBUNKO |
| 参考書 | 特になし。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 理学療法業務運営管理 | | 担当教員 | 工藤　英司 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対 象 | 2年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員（有の場合は、内容） | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 理学療法業務に関わる運営や管理を理解する |
| 行動目標（SBOs） | 1、診療報酬や介護報酬の制度の理解<br>2、リスクマネージメントについての理解<br>3、理学療法と組織(運営側や他部署)の関わりの理解 |
| 授業概要 | 1、理学療法士と運営管理業務①<br>2、理学療法士と運営管理業務②<br>3、診療報酬と介護報酬①<br>4、診療報酬と介護報酬②<br>5、診療報酬と介護報酬③<br>6、診療報酬と介護報酬④<br>7、リスクマネージメント①<br>8、リスクマネージメント②<br>9、リスクマネージメント③<br>10、リスクマネージメント④<br>11、リスクマネージメント⑤<br>12、理学療法業務と管理運営<br>13、理学療法業務と管理運営②<br>14、理学療法業務と管理運営③<br>15、まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義中心に実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 |
| 学習評価（EV） | レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 特になし |
| 参考書 | 授業時、説明 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 理学療法特論 | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対 象 | 3年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 総合実習Ⅰ・Ⅱを実施するにあたって、今まで学んできた知識の整理、実技の復習を実施する。<br>臨床ではどのような場面で危険が隠れているか予測できるようになること。 |
| 行動目標（SBOs） | 各疾患の障害像を説明することができる。<br>各疾患について考え、評価、治療を実施することができる。<br>リスク管理をしながら、体位変換、移乗方法などを実施することができる。 |
| 授業概要 | 評価実習で作成したレジメや体験を生かしながら、今年度控えている総合実習に向けて準備していく。総合実習では治療を実施するので、患者様の安全を管理しながら適切な行動ができなければならない。常にPTSの行動や考えを振り返りながら進めていく。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2～29回　評価法・治療法の提示<br>第30回　まとめ |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習を実施する。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 配布資料 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科 目 名 | 専門分野 | 理学療法特論 | | 担当教員 | 三谷　典生 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 3年 | （メールアドレス） | |
| 単 位 数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | | |
| 授業区分 | 演習 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 衣笠病院、一関病院において理学療法士として経験を積み重ねている。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 臨床実習に照準を合わせ、実際の症例に対し、効果的なプランニングを図る事ができるようになる。 |
| 行動目標（SBOs） | 学術的な知識を実践段階において、効果的に発揮できるよう技能習得を目指す。<br>評価・治療にあたっての臨床推論を構築し、実践する理学療法をスキーム化できるようにする。 |
| 授業概要 | 第１回　概論（初回介入～介入段階におけるリーズニング）<br>第２回　運動器疾患に対する評価Ⅰ<br>第３回　運動器疾患に対する評価Ⅱ<br>第４回　運動器疾患に対する治療Ⅰ<br>第５回　運動器疾患に対する治療Ⅱ<br>第６回　脳血管疾患に対する評価Ⅰ<br>第７回　脳血管疾患に対する評価Ⅱ<br>第８回　脳血管疾患に対する治療Ⅰ<br>第９回　脳血管疾患に対する治療Ⅱ<br>第10回　呼吸・循環器に対する評価<br>第11回　呼吸・循環器に対する治療<br>第12回　老年疾患に対する評価<br>第13回　老年疾患に対する治療<br>第14回　在宅復帰における関わり/実践的ADLに対する介入<br>第15回　維持期/生活期に対する介入 |
| 学習方略（LS） | 講義、実技を含む |
| 学習評価（EV） | 定期テスト(疾患に合わせたケーススタディに関する設問) |
| 教科書 | |
| 参考書 | |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 地域リハビリテーション論 | | 担当教員 | 千葉　恵美子 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期・後期 | 対　象 | 3年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30コマ（60時間） | e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含み） | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 国保藤沢町民病院（国保藤沢病院）、老健ふじさわ、訪問看護ステーションにおいて理学療法士として経験を積み重ねてきた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | 本授業では、地域包括ケアに関わる理学療法士がどのような役割のなかその専門性を発揮するべきか、日本の社会状況変化、法・制度の改革を踏まえて理解を深める。 |
| 行動目標（SBOs） | 1：地域リハビリテーションの定義や日本の社会背景と制度に関して説明できる。<br>2：介護保険制度を説明できる。<br>3：地域リハビリテーションの中での理学療法士の役割と関連職種との連携についてを説明できる。<br>4：介護保険下(生活支援場面)での理学療法士の役割について説明できる。<br>5：介護予防と健康増進での理学療法士の役割について説明できる。<br>6：住宅改修、福祉用具の手法に関して説明できる。<br>7：対人援助技術に関して説明できる。<br>上記内容を理解したうえで、理学療法対象者に対してQOLを意識した目標設定ができる。 |
| 授業概要 | 1：地域リハビリテーションの考え方および制度について<br>2：介護保険の仕組みについて<br>3：地域包括ケアシステム、<br>4:地域支援事業、またそれをとりまく多職種との連携について<br>5：介護老人保健施設、介護老人保健施設、訪問リハビリテーション、通所系サービスの機能性の違いと役割について<br>6：介護予防と健康増進の概要および事業形態、効果判定方法について<br>7：生活環境改善手技および福祉用具導入の支点とポイントについて<br>8：ケーススタディ(住宅改修設計図作成）、レポート提出<br>9：対人援助技術について<br>10：臨床実習に向けての心構えと演習(パーソナルスペースの理解とコミュニケーションを重点に)<br>11-12：ケーススタディ　慢性呼吸不全<br>13-14：ケーススタディ　嚥下障害<br>15－16：ケーススタディ　認知症<br>17-18：グループディスカッション　実習を終えての地域包括ケアシステムの理学療法士の役割を考える　19-20：ケーススタディ　神経難病<br>21-22：ケーススタディ　精神領域<br>23-30：国家試験対策　介護保険分野および地域リハビリテーションについて |
| 学習方略（LS） | 教科書を中心とした講義形式とグループワークを行い、活発な意見交換により幅広い考え方を身につける学習へもつなげる。 |
| 学習評価（EV） | レポート提出および講義中の小テスト |
| 教科書 | 細田多穂　監修「地域リハビリテーション学テキスト　改定第3版」江南堂　2018年1月 |
| 参考書 | ビジュアルレクチャー　地域理学療法学　第3版　医歯薬出版<br>その他必要に応じてプリント等配布 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | ボランティア論 | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 3年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 1単位 | 時間数 | 15コマ（30時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義 | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ボランティアの意義、課題を理解できる。 |
| 行動目標（SBOs） | 1)自分なりのボランティア観を形成できる。<br>2)ボランティア精神や活動を理解し、日常生活や医療現場にて応用できるように学習する。 |
| 授業概要 | 近年様々な場所で自然災害が起きている。今後ボランティア活動の力が必要とされる場面が多くなるが、一人ひとりがどのように出来事に対して自発的に取り組んでいくか議論をしていく。<br><br>第1回　オリエンテーション<br>第2回　ボランティアの概要<br>第3回　様々なボランティア活動について<br>第4回　ボランティア活動の検索方法（インターネット、または紙面使用）<br>第5回　学生におけるボランティア活動①<br>第6回　学生におけるボランティア活動②<br>第7回　地域におけるボランティア活動①<br>第8回　地域におけるボランティア活動②<br>第9回　災害現場におけるボランティア活動<br>第10回　医療現場におけるボランティア活動<br>第11回　ボランティア活動の課題①<br>第12回　ボランティア活動の課題②<br>第13回　ボランティア活動の課題③<br>第14回　まとめ①<br>第15回　まとめ② |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。 |
| 学習評価（EV） | レポート80%および取組態度20%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | 日々の新聞やニュースに関心を持つこと。授業で随時紹介する。 |
| 参考書 | 特になし。 |

# 令和2年度　授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校　理学療法学科

| 科目名 | 専門分野 | 卒業ゼミ | | 担当教員 | 水野　豊 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開講時期 | 前期 | 対　象 | 3年 | （メールアドレス） | |
| 単位数 | 3単位 | 時間数 | 45コマ（90時間） | y-mizuno@imwc-ichinoseki.ac.jp | |
| 授業区分 | 講義（演習含み） | | | 実務経験のある教員 | ○ |
| 実務経験のある教員の経験内容 | 狭山神経内科医院リハビリテーション科において、理学療法士として経験を積み重ねた。 | | | | |

| | |
|---|---|
| 一般目標（GIO） | ・国家試験形式の出題傾向および試験形式に慣れる。<br>・専門基礎知識および理学療法専門知識を深める。<br>・理学療法国家試験に合格するレベルまでの実力をつける。 |
| 行動目標（SBOs） | 基礎医学・臨床医学の各分野について知識を整理し、学習計画を立案して実行できる。 |
| 授業概要 | 今までに学んできた知識を整理し、卒業試験、国家試験に合わせた学習を進めていく。また実力試験や模擬試験を行い、自分の実力を確認しながら各人の学習計画を教員陣にチェックしてもらい助言を受けること。授業を進める上で、グループワークやペアで行う課題も実施していく。各試験後には課題の提出を求めることあり。<br><br>第1～3回　オリエンテーション<br>第4～44回　基礎医学・臨床医学<br>第45回　まとめ<br><br>※全45回の内、実力テスト、模擬試験も含む。 |
| 学習方略（LS） | 授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。<br>学生が調べて発表する課題も含まれる。<br>テスト後、復習を実施する。 |
| 学習評価（EV） | 提出物および取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。 |
| 教科書 | ・PT・OT国家試験共通問題　でるもん・でたもん　一問一答！！　医学書院<br>・2020年版　理学療法士・作業療法士国家試験過去問題集共通問題10年分　電気書院<br>・2020年版　理学療法士　国家試験過去問題集専門問題10年分　電気書院 |
| 参考書 | 適宜紹介する。 |